

## ボネコ 気化式加湿器

型式番号 **1359SA**

家庭用

## 取扱説明書

### Swiss Quality

この製品は、スイス・プラストン社により同社チェコ工場  
で製造されたものです。

### 特長

#### ■ 自然な加湿——気化式

お部屋（空気）の乾燥具合に応じて適度の加湿を行いますので、加湿し過ぎることがありません。また、水をそのまま散布しないので、カルキ等で家具を傷める心配がありません。

#### ■ お手入れが簡単

本体構造が上部開放型のため、フタを取るだけでお手入れや消耗品の交換が楽にできます。

#### ■ 一日中（24 時間）運転して、8.4 円

送風用モーターの消費電力は 16W。1 日稼働しても 8.4 円と、とても経済的です（1kW/h = 22 円として算出した場合）。

#### ■ 24 畳まで OK

適用スペースは、最大 24 畳のお部屋までご利用になれます。

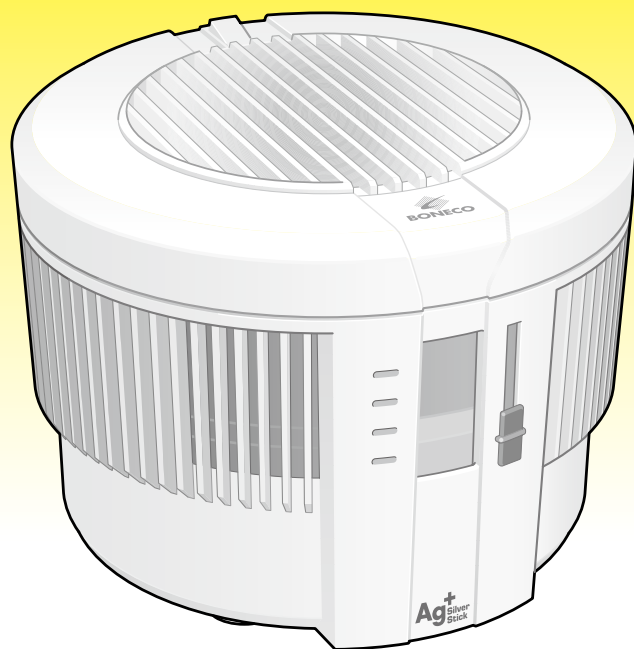
#### ■ 水中の雑菌抑制システム『Ag<sup>+</sup>』

加湿ユニット内にセットされたシルバースティックの銀イオンの作用により、水中の雑菌の繁殖を抑制します。また、放出される霧状の水分粒子は非常に小さいので、雑菌が水分粒子に取り込まれてお部屋に放出されることはありません。

#### ■ 防カビ性に優れた加湿マットを採用

新開発素材セルガイア®を配合した加湿マットを採用しています。

セルガイア®に含まれる銅イオンの効果で、マット上のカビの発生を抑制します。



Made in Czech Republic

このたびは、ボネコ気化式加湿器をお求めいただきまして、誠にありがとうございました。本製品を正しく安全に使っていただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

### もくじ

安全上のご注意.....	1 ~ 2
知っておいていただきたいこと .....	3 ~ 4
各部の名称とはたらき .....	5
使用手順 .....	6 ~ 7
お手入れのしかた.....	8 ~ 10
故障かな？と思ったら .....	10
仕様.....	10
アフターサービスについて .....	裏表紙

# 安全上のご注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の2つに分け、明示しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「禁止」、または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止



風呂・シャワー室での使用禁止



指示を守る



電源プラグを抜く



## 警告

### 電源／コンセントについて

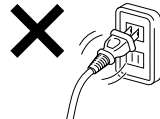


電源は交流100V (50/60Hz)で「15A 125V」と記されているコンセントからとる

15A 125V



取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない  
取り付けの悪い(ガタツキのある)コンセントや差し込み口(刃受)のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。



### 電源プラグ／電源コードについて



変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない  
感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)に、交換を依頼してください。



電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く  
運転中に電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は直ちに電源を切り(＝運転中止)、お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)にご相談ください。そのまま使用するとショートや発火する恐れがあります。



コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない  
たこ足配線などで、定格容量を超えると、発熱による火災の原因になります。



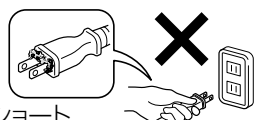
電源プラグは、根元までしっかりと差し込む  
不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない  
感電する恐れがあります。



電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く  
ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



動作中に電源プラグを抜き差ししない  
運転中に電源プラグの抜き差しをしないでください。感電・火災の原因になります。



運転の際は電源コードを解き、余っても束ねない  
熱の逃げ場がなくなって高温になり、発火する恐れがあります。

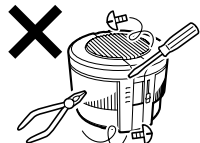


電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない  
電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。

### 使用中／使用後について



本製品を分解したり、改造をしない  
故障や発火の恐れがあります。



お子様だけでは使わせない。幼児の手の届くところで使わない  
感電・けがの原因になります。



### 運転中について



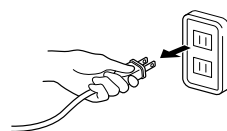
異常が生じた場合は、使用を中止する

万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り(＝運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター(裏表紙参照)までご連絡ください。

## お手入れについて



お手入れの前に電源プラグをコンセントから抜く  
感電・ケガの原因になります。



## ⚠ 注意

### 電源プラグ／電源コードについて



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く  
電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



## 設置場所について



屋外や水／湿気の多い場所（部屋）、浴室、特殊な環境で  
使わない  
ショートや感電の恐れがあります。また、硫黄などの硫化  
ガスが発生する場所や塩害の恐れがある場所で使用  
しないでください。故障の原因となります。



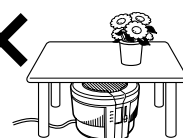
平らで安定した場所に置いて使用する  
不安定な場所におくと、本製品が転倒  
し、けがや故障の原因となります。



テレビ、ステレオ、電気カーペットなど  
電気製品の上で使わない  
水がこぼれると故障や感電の危険があります。



送風孔をふさがない  
テーブルや机の下に置くと送風孔  
をふさがれ、風（湿った空気）が部屋  
中に行き渡りません。



ストーブなどの暖房器と併用する場合は離して置く  
故障の原因となります。



就寝時に使用するときには、風が体に直接当たらない場所に  
置く  
身体が冷え過ぎて体調を損なう原因となります。

## 使用中／使用後について



本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する  
感電・ケガの恐れがあります。万一、本体が転倒・落下して  
しまった場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、お求め  
の販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）まで  
ご連絡ください。



小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添う  
運転中および運転していないときもお子様加湿器のそば  
にいるときは大人の方が付き添ってください。



長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く  
絶縁劣化による感電・漏電・火災を防ぐために抜いてくだ  
さい。



本製品を、他の用途や屋外で使わない  
この製品は、室内用の加湿器です。他の目的や屋外で使  
用すると、けがや故障の原因となります。



送風孔から絶対に給水しない  
故障や感電の原因となります。



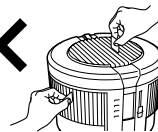
本製品に腰掛けたり、物を乗せない  
けがや故障の原因となります



タンクには水道水を入れる  
断水のあとや給水管の老朽化による赤水、または井戸水な  
どを使用すると、故障の原因となります。



運転中、送風孔および空気吸込み口  
のスキ間から指や異物を入れない  
けがや故障の原因になります。



## 運転中について



本体に水やジュースをこぼさない  
万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を中止します。その後、お求め  
の販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご連絡ください。

## お手入れについて



フタや、電源コード、電源プラグを水に  
つけたり、水洗いしない  
故障や感電の原因になります。



クレンザー、シンナー、金たわしなどは  
使わない



塩素系・酸性およびアルカリ性洗剤は使用しない



一週間以上使用しない場合は、必ずタンクの水を捨てる  
水が入ったまま放置しておくと、異臭の原因となります。



シルバースティックの変色部分を紙ヤスリや金ブラシでこ  
すらない  
抗菌効果が損なわれる原因となります。



お手入れ後は、各部品をよく乾かしてから取り付ける  
各部品が乾いていない状態で組み立てると、故障の原因  
となります。

# 知っておいていただきたいこと

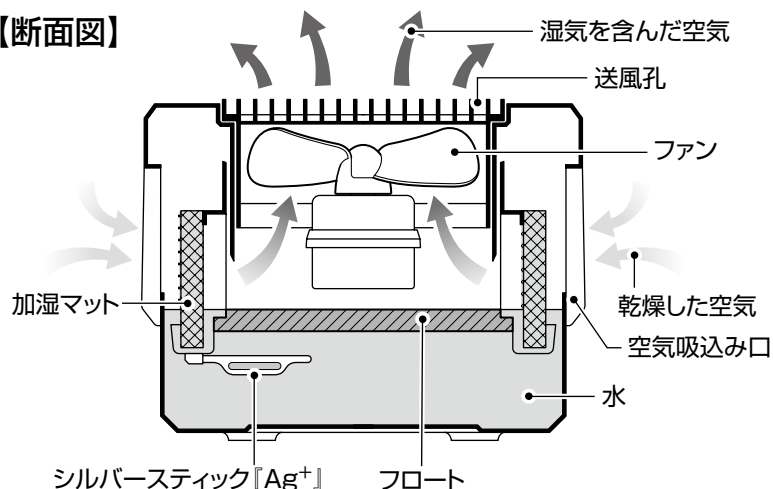
加湿の仕組みと主な特長をご理解いただき、本製品をより効果的にご使用ください。

## 加湿は“気化式”です

「湯気」や「霧」を強制的に発生させるものではなく、お部屋（空気）の乾燥具合に応じて自然に加湿する＝気化原理に基づいた“気化式”の加湿器です。

電源スイッチを入るとファンが回転し、室内の乾いた空気を吸い込みます。乾いた空気は、タンクの水を吸い上げて湿っている加湿マットを通過することにより、湿気を含んだ状態になって送風孔から放出されます。この時、蒸気とは異なり、加湿状態は目には見えません。

【断面図】



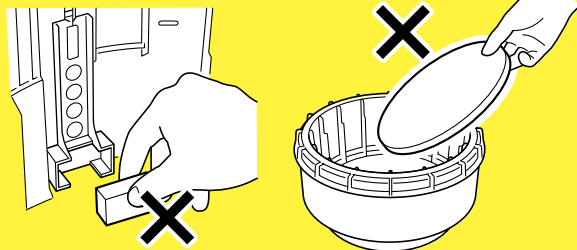
## 電気製品や家具を傷つけません

本機は気化式なので、水道水に含まれるカルキ分などを放出せず、テレビ / パソコンの液晶画面や家具などを傷つける心配がありません。

### ⚠ 注意

#### 水位計の浮きおよびフロートを捨てないでください

水位計の裏側にはめ込まれている四角い発泡スチロール(=浮き)と加湿ユニット底のフロート(円盤)は、梱包用のクッションではありません。取り出して、捨てないでください。



### ⚠ 注意

#### 送風孔からは、絶対に注水しないでください

送風孔の下にモーターファンがありますので、送風孔から注水することは絶対にお止めください。モーター故障の原因になります。注水は、必ず給水窓から行ってください。



### ⚠ 注意

#### 就寝時のご使用について

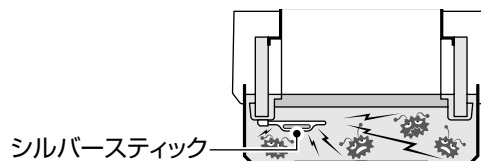
送風孔から出る湿気を含んだ風は、気化作用のために室温より多少低くなります。寝室で使用する際は、風が体に直接当たらないように離してください。※ファンの音が気になる場合は、足元の方に離して置いてください。



# 知っておいていただきたいこと（続き）

## シルバースティックの抗菌性能試験結果（財団法人 北里環境科学センター調べ）

試験菌名	抗菌効率
レジオネラ菌	99.5%
インフルエンザウィルス	99.6%



※データに関しては、デロンギ・ジャパン（株）までお問い合わせください。

## 気化原理を利用した低消費電力設計です

水を気化するには“気化原理”を利用しますので、必要なエネルギー（消費電力）は、送風用モーター（定格：16W）だけです。従来のスチーム式加湿器（消費電力 250 ～ 350W）と比較すると約 1/15 以下の電力です。

## やけどの心配がない設計です

スチーム式加湿器のように熱い蒸気を発生しませんので、やけどの心配がありません。また、本体に空気を吸い込むためのファン（羽根）は、フタを外さない限り触ることができません。

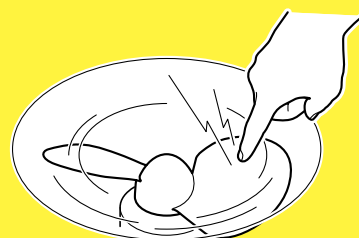
## 防カビ性に優れた高機能新素材＝セルガイア®の加湿マットを採用しています

天然鉱物ゼオライトをパルプ化した繊維状高機能素材、セルガイア®。  
この新開発素材セルガイア®を配合した加湿マットを採用しています。  
セルガイア®に含まれる銅イオンの効果で、マット上のカビの発生を抑制します。  
（セルガイア®はレンゴー株式会社の登録商標です。）

### ⚠ 注意

#### 誤って回転中のファンに触れた場合

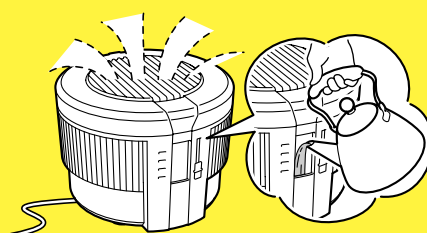
運転中、送風孔のすき間に指や異物を差し込まないでください。ファンはプラスチック製ですが、触れてけがをすることがあります。また、無理にファンの回転を止めると、モーター軸のずれや、モーターの過熱原因になります。



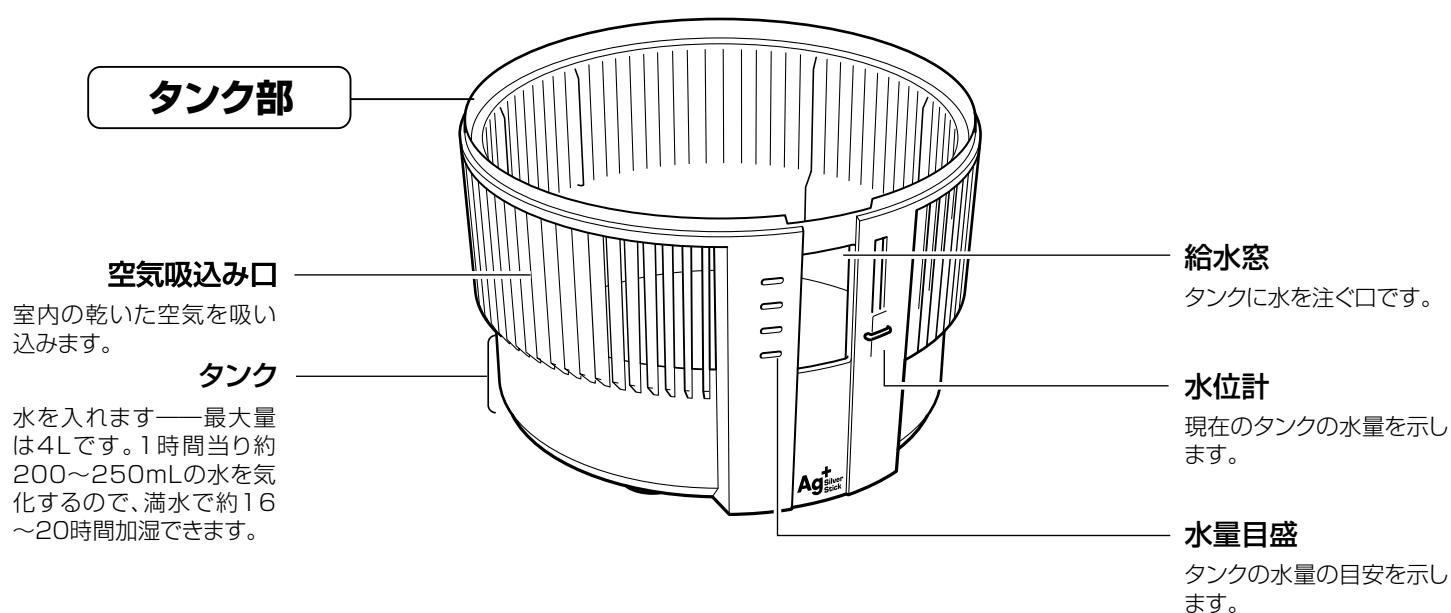
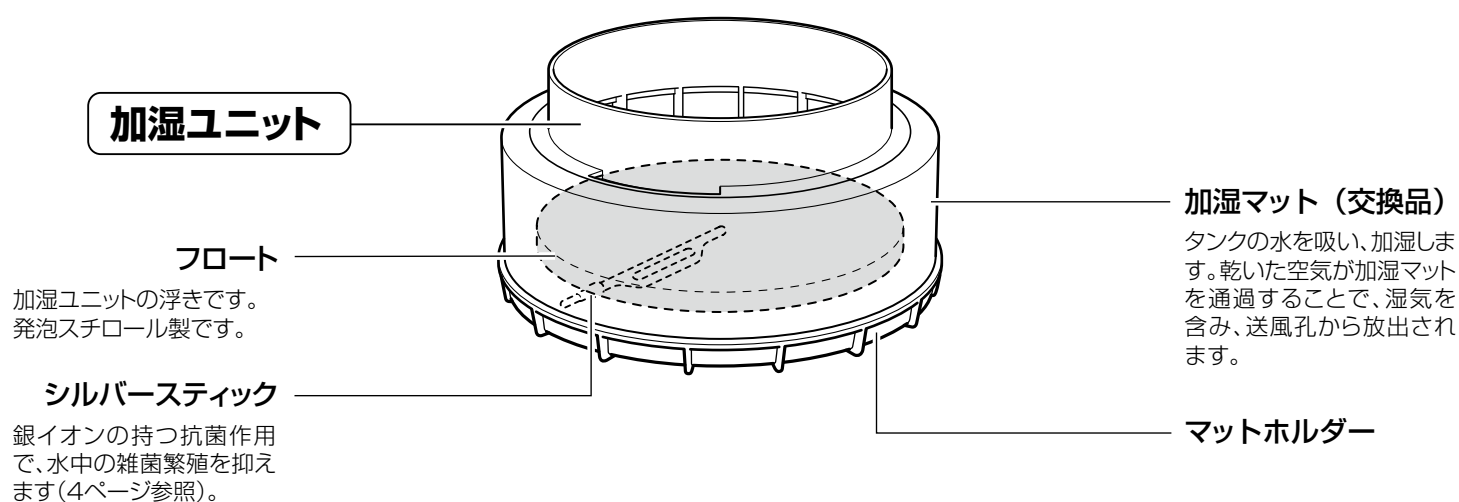
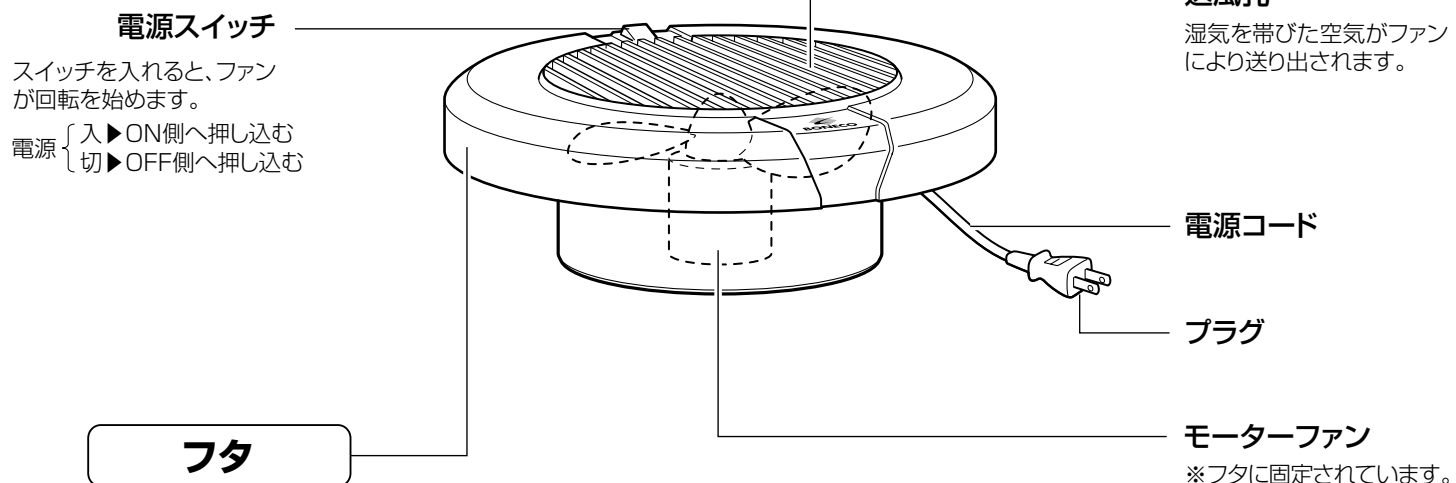
### ⚠ 注意

#### 水が無くなった状態で運転した場合

知らずに運転を続けても、事故や故障の原因にはなりませんが、送風だけの運転は、加湿の効果がありません。運転中は、ときどき水位をチェックして、タンクに給水してください。



# 各部の名称とはたらき



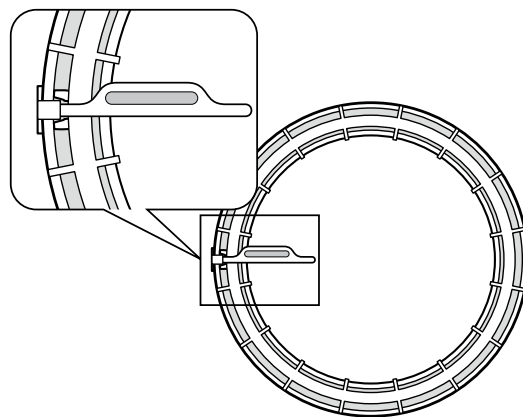
# 使用手順

## 1 シルバースティックの設置を確認する

加湿ユニットの裏側に、シルバースティックがきちんと設置されていることを確認します。シルバースティックは、マットホルダーの縁にしっかりと固定してください。

### ⚠ 注意

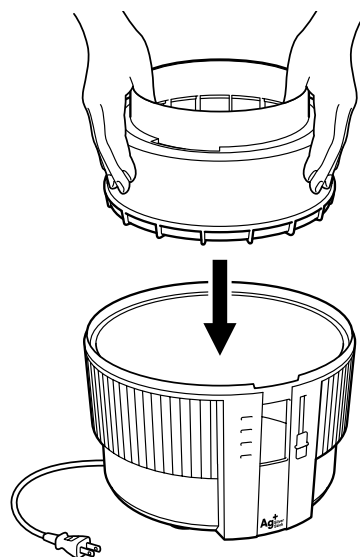
シルバースティックの変色は、問題ありません。銀の特性でメッシュ部分がやや黒ずむ場合がありますが、性能／機能的に問題はありませんので、安心してご使用ください。



※底部から見た図

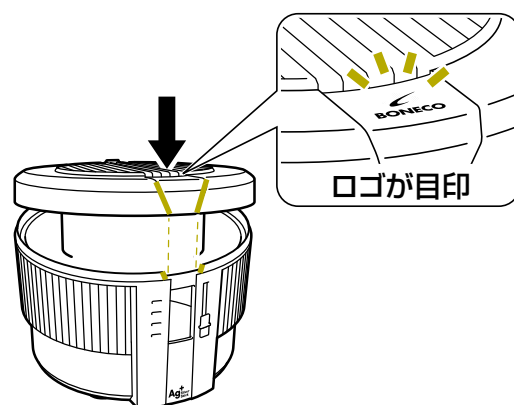
## 2 加湿ユニットをセットする

加湿ユニットを正しく（フロートが底になる）タンク部にセットします。



## 3 フタを取り付ける

タンクにフタを取り付けます。取り付ける向きについては、右図を参照してください。取り付ける向きを間違えると、フタが上に浮いた状態になり、そのまま使用すると故障の原因となりますので、ご注意ください。モーターファンが付いているので、多少、重量があります。取り扱いには十分ご注意ください。

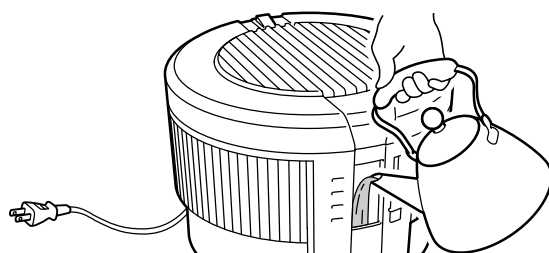


## 4 給水する

水位計が水量目盛の最上部を指すまで、給水窓から給水します。それ以上入ると水があふれるので、ご注意ください。

### ⚠ 注意

水に芳香剤（アロマオイル等）を直接混ぜたり、断水のあとや給水管の老朽化による赤水、または井戸水などは使わないでください。製品（材質）が変色／変質し、故障の原因になります。



# 使用手順（続き）

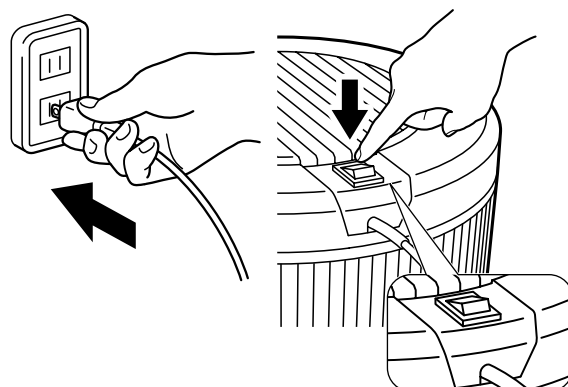
## 5 電源を入れる（運転開始）

プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。  
電源スイッチの ON 側を押してください。

ファンが回り、加湿を始めます。

※本製品は気化式のため、加湿の状態を目で見ることはできません（3 ページの“気化式”の説明をご参照ください）。

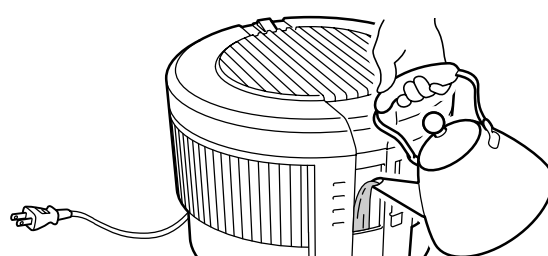
※ゆるやかな加湿を行うため、お部屋全体が十分加湿されるまでに約 1 時間かかります。



## 6 水を補充する

使用中はタンクの水量をチェックし、少なくなったら給水してください（給水する時は電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください）。

※ 1 時間当たり約 200 ～ 250ml の水を気化しますので、満水（4L）で約 16 ～ 20 時間運転できます。

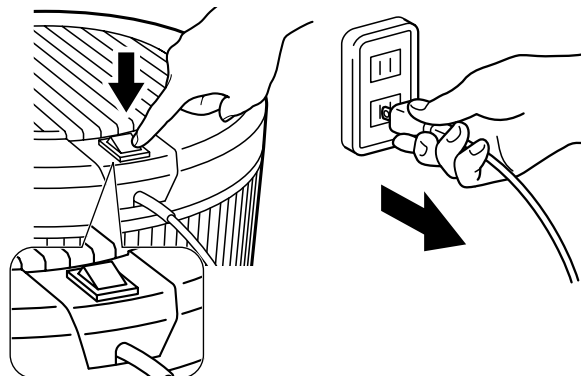


## 7 電源を切る（運転停止）

電源スイッチの OFF 側を押して、電源を切り、プラグをコンセントから抜きます。

### ⚠ 注意

一週間以上使用しない場合は、必ずタンクの水を捨てて、次回は新しい水で加湿してください。



### ⚠ 注意

ご使用の際は、必ず加湿マットを取り付けてください。また、送風孔や空気吸込み口をふさがないようにしてください。



# お手入れのしかた

汚れ具合によりますが、1～2週に1度、下記の要領でお手入れをしてください。また、シーズンオフには、必ずお手入れをしてから保管してください。

## ⚠ 注意

- プラグを必ずコンセントから抜いてください。
- フタ（モーターファン、電源スイッチ）および電源コード／プラグは、絶対に水に浸けないでください。
- クレンザー（研磨剤）やベンジン、シンナー、金たわしなどは、使用しないでください。
- 食器洗い機・乾燥機は、使用しないでください。

## 加湿マットのお手入れ >>> 水洗いできます

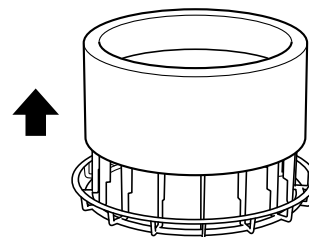
加湿マットに汚れ（水中の石灰分や鉄分、空気中のホコリ等）が付着すると吸水力が低下し、加湿効果を損ないますので、お手入れが必要です。加湿マットは使用環境によって、多少変色することがありますが、性能には問題ございません。

## ⚠ 注意

毎日洗ったり（洗い過ぎ）、もんだり絞ったりすることは、絶対にお止めください。クエン酸を使って加湿マットを洗わないでください。

### 1 加湿マットを取り外す

加湿マットをマットホルダーから取り外します。



### 2 加湿マットを水洗いする

洗剤は使用せず、必ず水かぬるま湯で、静かに押し洗いしてください。

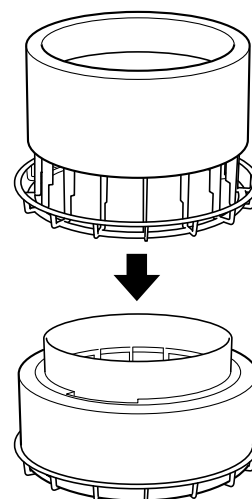
汚れや傷み具合によりますが、1シーズン（約3～4ヵ月）を目安に新品と交換してください。

※加湿マットのお求めは、9ページを参照してください。



### 3 加湿マットを取付ける

加湿マットをマットホルダーの底まで差し入れてください。

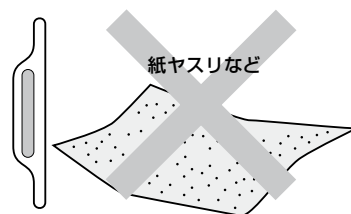


# お手入れのしかた（続き）

## シルバースティック ▶▶▶ 水洗いできます

付着しているゴミやホコリなどは、水道水で洗い流してください。使っていくうちに銀の特性でメッシュ部分の銀が黒ずむ場合がありますが、性能に影響しません。

※シルバースティックの寿命（有効期間）は、使用環境により異なりますが、5～6年（目安）です。期間を過ぎた場合は、弊社サービスセンター（裏表紙参照）まで、新しいシルバースティック（別売品：下記参照）をお求めください。

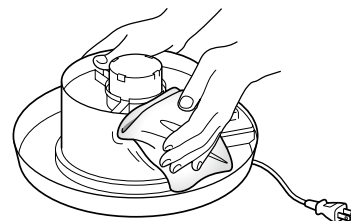


### ⚠ 注意

変色部分を、紙ヤスリや金ブラシなどでこすり取らないでください。抗菌効果が損なわれる原因となります。

## フタおよび電源コード／プラグのお手入れ ▶▶▶ 水洗いできません

水洗いしないでください。ホコリ等の汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れが落ちにくい場合は、布に少量のお湯を含ませ、固く絞ってから拭きます。



### ⚠ 注意

送風孔や電源スイッチなどに水をかけないでください。故障の原因になります。

## 別売品のお求めについて

本製品購入販売店、または弊社サービスセンター（裏表紙参照）にてお求めください。

### ●シルバースティック

シルバースティックの寿命は5～6年（目安）です。汚れ等が気になる方は、新しいものと交換してください。

型番 PL-SMSN

価格 3,360円（税込み・送料別途）

### ●ボネコ気化式加湿器 1359SA 用 加湿マット（セルガイア®）

型番 1359-FILC

価格 1枚：2,100円（税込み・送料別途）

必ず純正品をご使用ください。指定以外のものは、性能／品質を保証できませんので、使用しないでください。

## この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

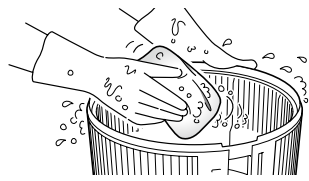


# お手入れのしかた（続き）

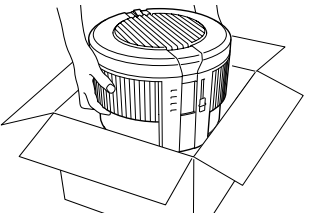
タンク部のお手入れ

水洗いできます

柔らかいスポンジと台所用中性洗剤を使って水洗いしてください。



- 保管する場合は…
- お手入れ後、各部が完全に乾いてから組み立て、製品の入っていた元箱に戻し（またはカバーなどをして）、乾燥した場所に保管してください。



## 故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、下記をもう一度チェックしてみてください。それでも異常があるときは、弊社サービスセンターに修理をご依頼ください（裏表紙参照）。ご自分での分解／修理／改造はおやめください。

状 態	考えられる原因	対処のしかた
1. 水が減らない （加湿されない）	タンクの水が空になっている	⇒ タンクに給水する。
	お部屋の湿度が十分（目安：50%程度）で水分が気化しない	⇒ 本機は気化式のためお部屋の空気中に十分な水分がある場合には水は減りません。
	暖房器や換気などによる室内環境の変化（温度上昇と乾燥）に加湿が追いついていない	⇒ しばらく様子をみてください。水が減っていれば加湿しています。
2. 異臭がする	タンクの水が空になっている	⇒ タンクに給水する。
	タンクや加湿マットのお手入れが不十分	⇒ タンクと加湿マットのお手入れを行う（8～10 ページ参照）。

## 仕様

製品名称／型式番号		ボネコ気化式加湿器／ 1359SA
定 格	電 圧／周波数	交流 100V ／ 50/60Hz
	消 費 電 力	16W
適 用 畳 数		～ 24 畳
加 湿 能 力		約 200 ～ 250mL ／時
外形寸法／質量		高さ 233 ×直径 315mm ／ 2.5kg
タ ン ク 容 量		4L
付 属 品		加湿マット× 1（装着済み）、シルバースティック× 1（装着済み）

- 1) 使用中に異常 (★) が生じた場合は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、10 ページ「故障かな? と思ったら」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または弊社サービスセンター (下記参照) にご相談ください。

〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・本体に水などの液体をこぼした
- ・本体に強い衝撃 (転倒・落下) を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

- 2) 万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に 1. お求め時期 2. 製品名称と型式番号 3. 故障の状況 —— を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便等を利用して弊社サービスセンター (下記参照) に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ (梱包箱) に同封してください。

※お送り先については、事前にお電話あるいはホームページ (<http://support.delonghi.co.jp>) にてご確認ください。

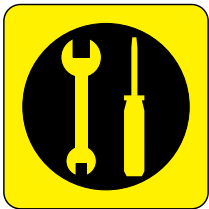
- 3) 保証期間中 (3 年) は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。

- 4) 補修用性能部品の保有期間について

弊社では、この加湿器の補修用性能部品について、最終輸入日を起点に 6 年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- 5) 真心想点検のお勧め：長い期間ご使用いただくために、専門技術者による点検 (お預かり) をお勧めします。点検の依頼および料金などにつきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。



ご購入年月日：                      年                      月                      日

- 6) デロンギ再資源化システムについて



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担 (元払い) となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱 (元箱) に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※お送り先については、事前にお電話あるいはホームページ (<http://support.delonghi.co.jp> 参照) にてご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター▶ (受付時間 土、日、祝日を除く毎日 9:30 ~ 18:00)

- コールセンター      修理について………Tel. 0120-804-280  
Tel. 0120-692-885      / Fax. 045-450-3291  
お問い合わせ………Tel. 0120-064-300  
Tel. 0120-692-880

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-9 安田倉庫 (株) 内 4 号ビル

ホームページでのお問い合わせ (URL) —— <http://support.delonghi.co.jp>

 **デロンギ・ジャパン株式会社**

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-5-6 第 3 大東ビル

[www.delonghi.co.jp](http://www.delonghi.co.jp) イタリアのライフスタイル情報満載！会員登録でプレゼントのチャンスも！